

事業所名

ポーラベア

支援プログラム

作成日

令和7年

2月

1日

| | | | | | | | | | |
|-----------|--|--|----|-----|----|----|---------|----|----|
| 法人（事業所）理念 | 一人ひとりの気持ちに寄り添いお子さまの持つ可能性を信じ、そっと後押しし、ご家族さまも含めた安心できる環境を提供する | | | | | | | | |
| 支援方針 | スキルリストをもとに保護者さまへのヒアリング、アセスメントを行い個別非戦計画書を作成。応用行動分析、SST、構造化等のスキルを駆使し利用者にとってポーラベアが心地よい環境となるように寄り添った療育を行う。個別活動、集団活動、余暇活動を軸に療育を進める。学習支援はスモールステップで利用者の躰きを見極めて療育を行う。 | | | | | | | | |
| 営業時間 | 9時 | 0分 | から | 18時 | 0分 | まで | 送迎実施の有無 | あり | なし |
| 支 援 内 容 | | | | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | 指導員とのかかわりを通して障害の特性を探り、ポーラベアで安心して過ごせるよう時間や空間を構造化するための手立てを整える | | | | | | | |
| | 運動・感覚 | さまざまな活動を提供する中から本児の感覚や認知の特性（過敏や鈍麻）を探り、感覚の偏りを調整するための手立てを整える | | | | | | | |
| | 認知・行動 | さまざまな活動を提供する中から本児の興味関心やできること・できないことを探り、楽しみながら学んでいくための手立てを整える | | | | | | | |
| | 言語 コミュニケーション | 指導員とのかかわりを通して現時点でのコミュニケーション能力を探り、医師の伝達や読み書き能力の向上に必要な手立てを整える | | | | | | | |
| | 人間関係 社会性 | 指導員とのかかわりを通して信頼関係を築く中で本児の遊びの発達段階を探り、社会性の発達を促すための手立てを整える | | | | | | | |
| 家族支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・利用者（きょうだいへの支援も含）が地域社会に参加しやすい環境を整えるため、必要に応じて関係機関との連携を行う ・個別支援計画に基づいた療育に関する相談がある場合には面談を実施（面談を行った場合には家族支援加算を算定） ・保護者就労等の為、事業所で送迎を実施する | | | | | | | | |
| 移行支援 | ご家族に寄り添い安心して生活を送れるようにするため、必要に応じてお子さまの情報共有や相談援助等を行う | | | | | | | | |
| 地域支援・地域連携 | <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の支援体制の構築を図るため、必要に応じて保育所等の子育て支援機関等との連携を実施する ・利用者・ご家族に関する機関と、支援方針を検討するための会議を開催する。 ・利用者・ご家族のことにに関して、医療機関等の専門機関や児童委員などの地域関係者と必要に応じた連携を行う | | | | | | | | |
| 職員の質の向上 | <ul style="list-style-type: none"> ・札幌市や外部から発信される研修などに積極的に参加する ・事業所に療育に関する資料や冊子を置きする | | | | | | | | |
| 主な行事等 | お祭り、茶話会、季節に合わせた制作、お買い物などの外出等 | | | | | | | | |